

# かわり

vol. 58  
May 2018



撮影者/高下 康司

## 理念

私たちは地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します。

## 品質方針

顧客満足から顧客感動へ「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち溢れた心のかおりのするサービスを目指します。

## 今回の内容

職員を大切に作る働きやすい職場をつくる	02
職員仕事満足度の調査結果	03
ミニ福祉情報 この春しおかぜの里保育園は、しおかぜの里こども園に。ところで、認定こども園ってどんなところ?	04
各拠点からのお知らせ	
さこ拠点 (彦島追町)	04
たのくび拠点 (彦島田の首町)・しおはま拠点 (彦島塩浜町)	05
ゆめタウン拠点 (長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点 (彦島追町)	06
松美会の人財	
私たちが働いています!	07
とろみ調整食品をご存知ですか?	08

## とろみ調整食品をご存知ですか?

栄養管理・食事サービス部 管理栄養士 中井由佳梨

高齢期になると加齢とともに、食べものを噛む力(咀嚼)や飲み込む機能(嚥下)が低下してきます。食事中や飲み物を飲む時にムセ込むことが増えてくる方も少なくありません。ムセ込みを防止し、飲み込みやすくする方法のひとつとして、今回は、「とろみ調整食品」をご紹介します。

- とろみ調整食品とは、飲み物等に加えてかき混ぜるだけで、簡単にとろみをつけられるもの。粉末状が主流。ドラッグストア等で購入することができる。
- 適切な強さのとろみをつけるポイント
  - ①コップやスプーンはいつも同じものを使用する。
  - ②とろみ調整食品は毎回必ずすりきり量る。
- とろみ調整食品の使用方法



①お茶等とろみをつけたい食品にとろみ調整食品を加える。  
②スプーン等ですくりに15秒程度かき混ぜる。  
③2分程度でとろみがつきます(水・お茶の場合)。  
※商品によってとろみのつき具合が異なりますので、使用されるとろみ調整食品の商品取り扱い情報をご参照ください。

### ●使用量の目安【学会分類2013(とろみ)】

薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
スプーンを傾けるとすっと流れ落ちる	スプーンを傾けるととろりと流れる	スプーンを傾けても形状がある程度保たれ流れにくい

※その方の嚥下状態に合わせ、ムセにくい濃度で調整してください。

## 社会福祉法人 松美会

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>  
E-mail: [fukushi@shoubikai.or.jp](mailto:fukushi@shoubikai.or.jp)

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>◎アイユウの苑 迫(さこ)<br/>〒750-0092 下関市彦島追町三丁目17番2号</p> <p>◎アイユウの苑 田の首(たのくび)<br/>〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号</p> <p>◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)<br/>〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号</p> <p>◎アイユウの苑 ゆめタウン<br/>〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号</p> <p>◎しおかぜの里<br/>〒750-0092 下関市彦島追町六丁目7番22号</p> | <p>■特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ)</p> <p>■アイユウの苑 デイサービスセンター</p> <p>■アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島</p> <p>■アイユウの苑 ホームヘルプサービス</p> <p>■アイユウの苑 訪問入浴サービス</p> <p>■アイユウの苑 訪問看護サービス</p> <p>■アイユウの苑 ケアマネジメントセンター</p> <p>■アイユウの苑 グループホーム</p> <p>■アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま</p> <p>■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま</p> <p>■小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま</p> <p>□住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま</p> <p>■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン</p> <p>■アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ</p> <p>□しおかぜの里こども園</p> | <p>Tel. 083-266-8287</p> <p>Tel. 083-266-6364</p> <p>Tel. 083-266-6364</p> <p>Tel. 083-261-1372</p> <p>Tel. 083-266-6364</p> <p>Tel. 083-261-4337</p> <p>Tel. 083-266-6501</p> <p>Tel. 083-266-5361</p> <p>Tel. 083-266-5362</p> <p>Tel. 083-267-8800</p> <p>Tel. 083-267-2525</p> <p>Tel. 083-267-2525</p> <p>Tel. 083-249-2200</p> <p>Tel. 083-249-2200</p> <p>Tel. 083-267-1917</p> |
|---|---|--|



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステム ISO9001 の認証(審査登録)取得を実現しました。その後も、システムの維持・継続的改善をしながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

かわり “やさしさ” “真心” “思いやり” で満たされた “心のかおりのするサービス” をめざして vol.58 May 2018 社会福祉法人 松美会 広報誌 発行日:2018年5月15日発行

# 職員仕事満足度の調査結果(一部)

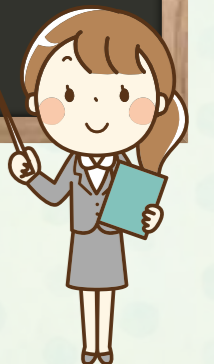
# 職員を大切にする 働きやすい職場をつくる



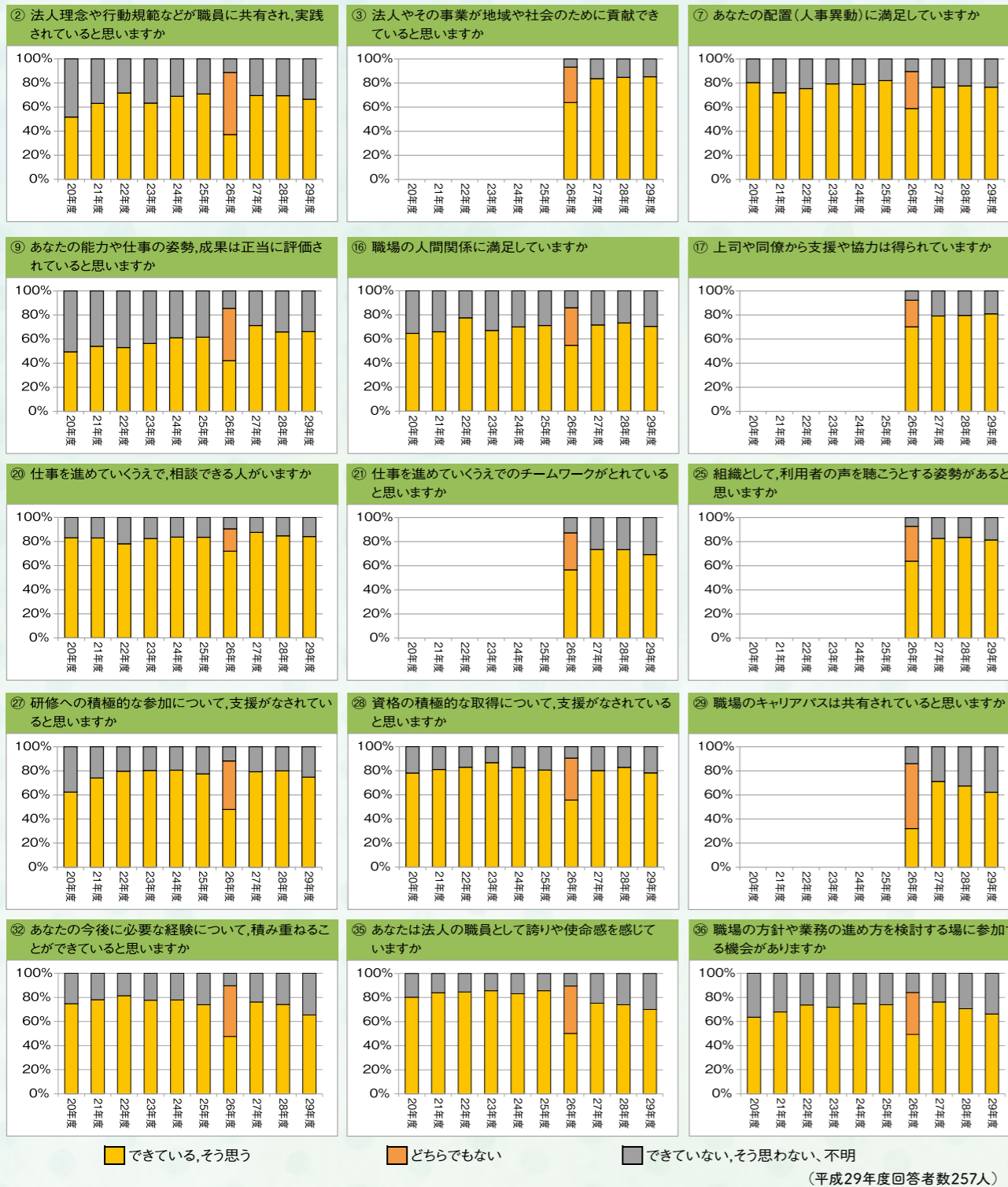
社会福祉法人松美会では、「顧客本位」「職員重視」「社会との調和」「独自能力」これら4つの視点を大切にさまざまな取り組みを展開しています。なかでも、職員重視(職員一人ひとりを大切に、職員の独創性と知識創造による組織目標の達成を目指します。自由に発想し、対話できる組織づくりを目指します。)は、福祉人材の確保・育成・定着に結び付くものであり、職員を大切にする働きやすい職場づくりは最重要課題と考えています。このことから松美会では、平成18年度からすべての職員を対象に職員仕事満足度調査を実施し、職員の仕事満足度を把握し、改善する取り組みを継続しています。

- ① 法人が行っている事業について、あなたはおよその理解ができていますか
- ② 法人理念や行動規範などが職員に共有され、実践されていると思いますか
- ③ 法人やその事業が地域や社会のために貢献できていると思いますか
- ④ 法人の利用者について、その尊厳が尊重されていると思いますか
- ⑤ 法人の将来性に魅力を感じますか
- ⑥ 現在の仕事があなたに向いていると思いますか
- ⑦ あなたの配置(人事異動)に満足していますか
- ⑧ 過度な精神的不安を感じることなく仕事を進めていますか
- ⑨ あなたの能力や仕事の姿勢、成果は正当に評価されていると思いますか
- ⑩ 仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思いますか
- ⑪ 現在の仕事にやりがいを感じますか
- ⑫ 仕事の配分は公平であると思いますか
- ⑬ 職員の配置(人数・適性など)は適切になされていると思いますか
- ⑭ 必要な情報が確実に伝えられていますか
- ⑮ あなたの上司は適任ですか
- ⑯ 職場の人間関係に満足していますか
- ⑰ 上司や同僚から支援や協力は得られていますか
- ⑱ 仕事に関して上司や同僚と違う意見を言える雰囲気がありますか
- ⑲ 仕事でのトラブルや苦情などがあつた場合、ひとりで抱え込まないですみますか
- ⑳ 仕事を進めていくうえで、相談できる人がいますか
- ㉑ 仕事を進めていくうえで、チームワークがとれていると思いますか
- ㉒ 組織として、利用者の声を聴こうとする姿勢があると思いますか
- ㉓ 職場のキャリアパスは共有されていると思いますか
- ㉔ 研修への積極的な参加について、支援がなされていると思いますか
- ㉕ 資格の積極的な取得について、支援がなされていると思いますか
- ㉖ 職場のキャリアパスは共有されていると思いますか
- ㉗ 法人の表彰制度はあなたの意欲の向上に結び付いていますか
- ㉘ あなたの自身の成長の場の中心は業務の中にあると実感できますか
- ㉙ あなたの今後に必要な経験について、積み重ねることができていると思いますか
- ㉚ あなたの法人におけるあなた自身の将来像について、希望がもてますか
- ㉛ あなたの仕事が利用者の満足や社会的使命の達成につながっていると実感できますか
- ㉜ あなたは法人の職員として誇りや使命感を感じていますか
- ㉝ 職場の方針や業務の進め方を検討する場に参加する機会がありますか
- ㉞ 改革・改善が進んでいると感じますか
- ㉟ 今後も改革・改善の必要性を感じますか
- ㊱ 楽しく仕事に取り組んでいますか
- ㊲ アイユウの苑のサービスを人に勧めますか

以上40項目(平成25年度までは26項目)について(①できている,そう思う ②ややできている,ややそう思う ③あまりできていない,あまりそう思わない ④できていない,そう思わない)の4段階評価を全職員から無記名で回答を得ており、評価の低い設問に対しては、改善に向けた取り組みを実施しています。平成26年度のみ中間的意見の「どちらでもない」を含む5段階評価としていますが、結果が「良い」のか「悪い」のか分かりづらい為、以降はまた、4段階評価としています。職員一人ひとりの仕事満足度が少しずつでも高まること。このことが職員の定着につながると考えています。



加えて、公益財団法人日本生産性本部が実施する従業員満足度調査(niserES)を用いた社会福祉懇談会共通職員意識調査(71問)に平成28年から参加しており、平成29年度は、全国26法人5,489人の調査結果が得られました。自法人の立ち位置を確認するとともに、総合満足度(私たちの法人に対して総合的に満足している割合)に影響を与える要因の分析を行った結果、「上司が職場の方向性についてメンバーに説明している」「幹部が現場の声を聞く」「職員が過剰な労働時間にならないよう管理している」などの項目が、総合満足度を高めるポイントとなりました。



**「この調査で大切なのは、結果を分析し松美会独自の傾向をつかみ対策をとることです。」**

これらの取り組みが、松美会の職員一人ひとりが、「やる気」を高め、納得して、最大限の力を発揮し、それぞれの現場を支え続けてくれることにつながることを期待しています。そしてこのことが、間違いなくご利用者様の満足度を高めることにつながると考えています。さらなる働きやすい職場づくりを目指します。

法人事務局  
事務局長 辻中浩司

## 離職率0への取り組み

アイユウの苑グループホームでは、この2月に現在勤務している職員の平均勤続年数が8年を越えました。平成17年7月に開設致しましたが、平成22年度以降は結婚に関することや本人の病気によること、そして定年退職以外での退職者は2名のみです。

実は平成21年度以前の当ホームは非常に離職率の高い職場でした。当時の厚生労働省のデータで、離職率が高いとされていた介護職の離職率が20%というものがありましたが、当ホームの以前の平均離職率はそれを上回る25%というものでした。

そもそも離職率が高いとこのような弊害があります。

- ご家族様からは「職員が変わることは何かしら問題があるのだろう」という不信を招く。
- 勉強会を開催しても受講した職員が辞めてしまうので知識や技術の向上に繋がらない。
- 介護の質が上がらない、ご利用者様に良いケアができない。
- 職員は頑張っても報われない。仕事が楽しくならない。職場の人間関係も悪くなる。

各拠点からのお知らせ

## しおはま

拠点  
(彦島塩浜町)



## より住みやすい住宅型有料老人ホームを目指して

住宅型有料老人ホームアイユウの苑しおはまでは、1年に1度、ご利用者様、ご家族様、職員とが一堂に会し、運営懇談会を開催しています。これは、『有料老人ホーム事業の運営について、サービスの透明性を確保する観点から、運営懇談会を設置し、入居者の状況やサービス提供の状況、利用料金等についての事項を定期的に報告、説明するとともに、要望、意見を運営に反映させるよう努めること。』という有料老人ホーム設置運営指導指針にもとづくものです。

この運営懇談会は、今年で3回目の実施で、1回目の懇談会では、様々な要望や苦情に近い厳しいご意見をいただきましたが、今回は、事前のアンケートでの

各拠点からのお知らせ

## たのくび

拠点  
(彦島田の首町)



もちろんこれらは離職率の問題だけではなく、上手くいっていない要因の一つとしてとらえ、改善することで、この負のスパイラルを逆転させることができます。職員は知識や技術の上積みができ、その結果介護の質が上がります。ご利用者様やご家族様も喜んでくださり、職員はやりがいを見出すことができるようになります。

平成22年を境に劇的な変化を遂げた当ホームですが、もちろんそれは、偶然ではなく必然にもたらされた変化です。断言できる大きな原因といくつかの要因があります。興味のある方はぜひお問い合わせください。

アイユウの苑 グループホーム  
管理者 江藤文彦



各拠点からのお知らせ

## さこ

拠点  
(彦島迫町)



## 安全に食事を食べ続けられるために

特別養護老人ホームでは、多職種(介護、看護、栄養士、機能訓練指導員、生活相談員)からなる食事サービス向上委員会が中心となって、「嚥下(※1)機能が低下した方でも食事を安全に食べ続けることができるためにどうすれば良いか?」をテーマに話し合いを続けています。現状の食事介助方法などについて職員が感じていることをアンケートにしてみたり、「ユニバーサルデザインフード(※2)」を当施設の食事の提供形態に当てはめて、嚥下状態からご利用者の食形態を一人おひとり見直してみたり、従来の食事介助の手順や注意事項を委員会で見直ししたりと、特にこの1年間は取り組みを強化してきました。さらには、以前からも食事前に行っていた、嚥下体操と新たに「あいうべ体操」を実施したり、職員が注意すべく食事介助の「3原則!」を作成し食堂に掲示することなども行ってきました。

食事は生活の中にある楽しみのひとつです。嚥下機能が低下しながらも安全に食事が食べられるようこれからも、取り組んでまいりたいと思います。

※1 嚥下…口の中の食物を飲み込むこと。

※2 ユニバーサルデザインフード…日本介護食品協議会が規格を定めた、嚥下機能が低下している方のために食べやすさに配慮した加工食品。「かたさ」や「粘度」に応じて4段階に区分されている。

特別養護老人ホームアイユウの苑  
主任看護職員 河埜朋子



住宅型有料老人ホーム  
アイユウの苑 しおはま  
管理者 寺迫 薫

## 福祉情報

この春しおかぜの里保育園は、しおかぜの里こども園に。

## ところで、認定こども園ってどんなところ?



最近、認定こども園という言葉を目にする機会も多くなったと思います。幼稚園でもない、保育園でもない認定こども園とはどういったものなのでしょうか?

認定こども園は、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。



### 幼稚園

- 幼児教育
- 3歳～就学前の子ども

機能付加

### 就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供する枠組み

#### 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供

保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に実施

#### 地域における子育て支援

すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを実施

### 認可・認定

機能付加

### 保育所

- 保育
- 0歳～就学前の保育が必要な子ども

認定こども園には、地域の実情や保護者のニーズに応じて「幼保連携型」「幼稚園型」「保育所型」「地方裁量型」の4つのタイプがあり、松美会が運営するしおかぜの里こども園は、幼保連携型こども園となります。

ご興味のある方は、是非一度見学に来られてみてはいかがでしょうか。

(内閣府ホームページより 一部抜粋  
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/gaiyou.html>)



グループホーム  
介護職員 合志未香  
平成20年度入職 介護福祉士

私が介護職員として成長した大きなきっかけの一つは『立場の変化』です。早いもので私もこの春勤続10年を迎えました。最初は介護職としても初心者だった私ですが、いつしか多くの職員の先輩という立場になっており、後輩職員の指導を任されることも多くなりました。指導する側の立場に変わったことで、「しっかりしなくては」という心理的な変化もありましたが、「相手にどのようにしたら上手く伝えることができるか」「私自身はそのことを十分に理解できているか」といったことを考えることが習慣となったことが私自身の成長に大きく影響していると感じています。

勤続年数が長くなるにつれ、任される仕事も難しくなりますが、それを乗り越える度に、成長した実感と達成感が得られます。

どんな仕事でも大変で困難な試練が必ず出てきます。そういった時にこそ、『試練を乗り越えるという気持ちが大事』と思っています。その気持ちを育ててもらえたことは私にとって大きな成長であり、自分に合った職場に就けたことへ感謝しています。



松美会の人財  
私たちが  
働いています!

今回のテーマは...  
自分が成長したきっかけや、  
成長したと実感する時



ケアマネジメントセンター  
ケアマネジャー 村枝篤子  
平成26年度入職 介護支援専門員

私はケアマネジャーとして入職し、もうすぐ4年目になります。以前はデイサービスで介護職員として勤務していましたが、「ご利用者様とご家族様にもっと深く寄り添える仕事がしたい」と思いケアマネジャーを目指しました。

ケアマネジャーは、ご利用者様へ直接の介護をしません。介護保険を利用するにあたりケアマネジャーが作るケアプランは必要不可欠なものです。お一人おひとりの生活上の問題が解決できるよう、介護サービスやその他のサービスなどを調整し、様々な職種の方と連携し支援を行う縁の下の力持ちのような存在です。

初めはサービスについての知識も少なく、思うように支援ができずに戸惑いも多く悩んだり落ち込んでしまうこともありました。今ではご利用者様が少しでもより良い生活ができるようにご利用者様やご家族様と一緒に考えていく中で、広い視野で物事をみることができるようになったと感じています。

これからもご利用者様が住みなれた地域、ご自宅で安心して生活ができるよう、日々研鑽を積み自身を高める努力を続けて行こうと思います。



ゆめタウンショートステイ  
介護職員 木島晴美  
平成26年度入職 介護福祉士

介護の仕事を始めた頃は、自分には介護に必要な知識も経験も何も無く、ただ「笑顔で」を目標に頑張る毎日でした。

時々、「これで良いのかな、もっとご利用者様のお役に立てる様な介護はできないのかな」と考えていた時に上司より、たん吸引の研修の話がありました。急な事でもあり、自分に出来るのかすごく不安でしたが、周りの方々のサポートのお蔭もあり、研修を無事に終えることができました。

それからは、たん吸引の必要なご利用者様に吸引をさせていただくと、苦しい表情をされていたのが、とても楽な表情に変わってこられ、「もう大丈夫」と言われると私もホッとして嬉しくなります。この資格を取らせていただけて良かったなと心から思いました。

介護と医療の両方からご利用者様へのサポートができるようになり、自分自身のやりがいと自信に大いに繋がりました。今では、「笑顔」と「資格」を手に入れた介護の仕事に励んでいます。

これからも自分の成長と共に  
良い介護サービスを提供  
できるよう職場の皆さん  
の協力を得つつ、頑張っていきたいと思っています。



特別養護老人ホーム  
介護職員 平野勇気  
平成17年度入職 介護福祉士

私がこの仕事をしていて良かったと感じることは、相手の方の気持ちを考えてとった言動や対応が相手に伝わり笑顔が見られたり、「ありがとう」の言葉をいただいた時です。そんな時は「想いが届いて良かったな」「また次も頑張ろう」という気持ちになります。

仕事をする上で一番大切にしていることは、目の前の相手の方に対して思いやりを持って接することです。どのような時も、まずは相手の方のことを第一に考え、その方が置かれている状況や気持ちを汲み取ろうとすることこそ、決して欠くことのできない心配りであると思います。それらを普段から意識しながら、自然な形で心配りができるようになることが、私が目指す理想像です。

大変なことやうまくいかないことなど、どんな場面であっても、適度なユーモアと元気いっばいの笑顔と明るさが自分の持ち味だと思っています。それを存分に発揮しながら、ご利用者様のケアに今後も携わっていければと思っています。



各拠点からのお知らせ

ゆめタウン

拠点 (長府ゆめタウン)

気分転換できる時間のご提供

当苑では、地域のボランティア様のご協力のもと、週に3回(月曜・木曜・土曜)喫茶『胡蝶蘭』を開いています。メニューにはコーヒーやクリームみつ豆等があり、ご利用者様のみでなく、ご面会者様や地域の方も利用することができます。

また、週に1回(火曜)苑内販売を行っています。こちらにもボランティア様にご協力いただいております。饅頭やおせんべい等のお菓子を販売しています。好きなお菓子を購入していただき、おやつ時間に食べることも、お土産で持って帰ることもできます。

私達は、日々の生活の中でご利用者様が“気分転換できる時間”を過ごすことができるように努めており、喫茶や苑内販売はそんな時間をとても身近に感じられる場として活用させていただいております。ボランティア様もとても優しく、ご利用者様とも積極的にコミュニケーションを取ってくださいます。これからもボランティア様と協力

して、多くのご利用者様に笑顔で気分転換できる時間をご提供できればと考えています。

地域密着型介護老人福祉施設ゆめタウン  
生活相談員 河崎 亮



各拠点からのお知らせ

しおかぜ

拠点 (彦島迫町)

別れのあとに新たなスタートを

3月の後半、しおかぜの里保育園では毎年、年長児とのお別れ会を行います。

今回も在園児は年長児との別れを惜しみ、先生方への出し物やプレゼント交換など、最後のひと時に笑ったり涙を流したりしながら、それぞれの思いで過ごしました。

年長児は小学校へ探検に行き、小学校の椅子に座ったり、授業の様子を見学してもらったりと就学に向けて移行する準備を行っています。在園児は、進級する部屋に遊びに行くなどする中で、ワクワクドキドキ期待感を持ちながら進級する準備を行っています。子ども達は、新しい生活を心待ちにして29年度を締めくくりました。

園庭から見える桜の花も綺麗に咲き、悲しい別れの涙を流した後は、桜の花のように、優しく笑顔あふれる新

しい生活がスタートします。本園は、保育園から幼保連携型認定こども園へと移行し、新しいスタートを切りました。これからも、保護者の方々をはじめ、地域の方々のご協力を得ながら、子ども達一人ひとりに寄り添い、共に成長していけたらと思います。

しおかぜの里こども園  
保育教諭 大塚 麻友

